

「第14回山崎地区かるさる大作戦」が開催されました。

令和元年8月25日（日）、朝日町山崎地区辻岩崎地内において「山崎地区かるさる大作戦」が開催されました。

この「かるさる大作戦」は、里山（民家付近の山裾）の下草を刈ることで見通しを良くし、クマやサル、イノシシなどの有害鳥獣が民家周辺に出没しにくくすることを目的に、平成18年から毎年開催されており、今年で14回目となります。

早朝の6時30分という時間にもかかわらず、地元住民を中心に約100名もの参加があり（新川農林振興センターから2名参加）、皆さんは刈払機や大鎌を使って下草刈りに汗を流し、約1haもの大面積を1時間程度で終わりました。

当地区は、水と緑の森づくり税による「県民参加の森づくり活動」としてこの活動に取り組んでいます。今後も地区住民が一体となって森づくり活動に取り組む優良事例として末永く継続されることを願っております。



開会式の様子



草刈作業の様子